



生徒一人一人を尊重し、徹底して
面倒を見る学校を目指します。

校長あいさつ

令和6年度が始まりました。78回目の新入生111名を迎え、80周年に向けて、歴史と伝統を継承しながら、社会の進展に貢献できる生徒の育成のために、代々木中学校は、

- タブレット一人一台端末の強みを活かして、デジタル・シティズンシップ教育を推進し、加速化する情報社会に対応できる生徒を育てます。
- シブヤ未来科の授業を通して、「人」、「街」、「世界」の多様性について、個人で探究する力、協働で学び創造する力を養い、生涯にわたるアクティブラーナーを育てます。
- 渋谷区スポーツ等部活動強化校として、各顧問、外部指導員、地域及びシブヤ・ユナイテッドと連携し、スポーツ・文化を楽しみ、活躍できる生徒を育てます。
- いじめ、体罰（不適切な指導・暴言を含む）、スクール・ハラスメント等の未然防止に努めます。

代々木中学校の教育目標

将来の変化を予測することが困難な時代に、自らの人生を切り拓き、生涯を生き抜く力を培っていくために人間性を生かし、社会の進展に役立つ人をめざして

- ・ **よく考えよう**
自ら学ぶ意欲や思考力、判断力、表現力を伸ばし、主体的によりよい行動を起こす実践力を育てる。またインプットする力だけでなく発信力を身に付け、表現力を育む。
- ・ **思いやりをもとう**
自他の生命と人格の尊重をはじめとする人権尊重の精神の高揚をはかり、礼儀正しく心豊かで共に生きる姿勢を育む。
- ・ **力強く生きよう**
心と体の健康を推進し、生涯を通じてたくましく生きる力を育む。

教育目標達成のための基本方針

- (1) 探究的な学び及びデジタル・シティズンシップ教育を推進する。
- (2) 生徒が積極的に参加できる「主体的・対話的で深い学び」を実践する授業を行う。
- (3) 学校行事等で生徒自ら企画運営を行うなどの実践力を身に付けさせる。
- (4) 「特別の教科 道徳」の充実を図るとともに、家庭との連携を図る道徳教育を推進する。
- (5) 自他の生命を大切にする心の教育を行い、いじめ防止教育を行う。
- (6) 生徒が互いを支え合い、励まし合って健やかに成長できる教育活動を行う。
- (7) 一人一人のよさや可能性を共感的に把握し、生徒が互いのよさを認め合う。
- (8) 生徒の能力及び発達段階を考慮し、体力の向上を図る。
- (9) 運動部活動において、顧問、ユナイテッドコーチ及び区教委と連携を密にして、心身ともに健康な生徒を育てる。
- (10) よき仲間と支え合い、競い合い、励まし合って変化の激しい時代をたくましく生き抜く生徒を育てる。

生徒数

学年	1	2	3	合計
学級数	4	3	4	11
生徒数	111	111	155	377

部活動

運動部	文化部
バレーボール	吹奏楽
バスケットボール	美術
野球	書道
サッカー	手芸
硬式テニス	鉄道研究
陸上	
水泳	
剣道	
卓球	
柔道	

教職員（非常勤等を含む）

教員等 36名	校長 1名 副校長 1名 主幹教諭 3名 主任（養護含む）教諭 8名 教諭 12名 非常勤教員 1名 時間講師 5名 特支指導教員・特支専門員 2名
事務等 7名	都職1名 区職1名 栄養士1名 スクールサポートスタッフ1名 スクールカウンセラー3名
用務 3名	用務3名
警備	外部委託事業者
給食調理	外部委託事業者

特色ある活動

- ・ 毎朝10分間の朝読書やタブレットタイムから生活は始まります。
- ・ 週2回、朝のランニングを実施しています。
- ・ 「シブヤ未来科」の先駆校として、外部人材と教員が両輪となり、探究・協働学習に取り組んでいます。

教員が教壇に立ち授業及び教育活動を行うに当たり次の基準を常に念頭に置くものとする。

- 生徒のためであるか
- 保護者・地域の願いであるか
- 教育公務員として、法に則っているか
- 社会通念上、常識の範囲内であるか
- 教員として向上心を持っているか、協力体制を図れているか